

# 速報 被災地・岩手教育会館に教育復興支援物資搬入

## 4月1日から「市民ギャラリー」で、復興支援展示会

3月26日、教育復興支援の文房具を被災地の子どもたちに届けようと、教育復興支援物資が岩手教育会館に届けられました。これは教員会館が行っている東日本大震災支援カンパを活用し、サクラクレパスの特別協力のもと、被災地の学校教育



の復興に資するための文房具を送ろうとするもので、教員会館が行っている50年を超える児童生徒作品展の実績を踏まえ、文房具(クレパス、クービーペンシル、水彩絵具各

2880箱、四つ切画用紙10000枚)をサクラクレパスの協力により安価に購入。支援先として、関西広域連合の大阪担当地域である岩手県にある教員会館との兄弟関係にある岩手教育会館を通じて、被



災された子ども達に届けてもらうようと、岩手県学校生活協同組合倉庫に搬送されました。せめて、新学期にはひとつでも新しい文房具をと、新学期に間に合うことを目途に搬送された教育復興支援の文房具には、「進学・進級おめでとうございます。みなさん、どうか元気を出してくださいね。ひとりではありません。日本中のみんなが、心より元気になれるように祈っています。この文房具を使ってみんなが元気になる絵をたくさん画いてください」のメッセージが書かれています。



これまでパル法円坂・アネックスパル法円坂に設置されているカンパ箱には10万円を超える義援金が寄せられたほか、大阪市教職員福祉団体協議会をはじめ、教員会館・パル法円坂・アネックスパル法円坂の関係業者で

つくる月曜会、サクラクレパス、また、ミスターマジックリン小林さんからも義援金が寄せられています。さらには、パル法円坂で挙式者された新郎・新婦が呼びかけた義援金も寄せられています。

教員会館では、4月1日からアネックスパル法円坂B棟3階に移設される「市民ギャラリー」で、今回の輸送時に入手した写真などをもとに復興支援展示会を開催します。ぜひ、ご覧いただきますとともに、引き続き、教育復興支援のカンパにご協力ください。

平成23年3月28日 財団法人大阪市教員会館

写真は被災された大槌町赤碓小学校(上)と大槌町吉里吉里地区(下)の惨状。写真奥の四角い建物が避難所になっている吉里吉里小学校